

天溪 2014 年「ピレネー国境横断トレック 10 日間」

第 2 部

ピレネー山脈はフランスとスペインの国境線に連なり、東は地中海から西はビスケー湾に至る全長約 430Km の山脈。この地域はレコンキスタによりキリスト教とイスラム教が数百年に渡りせめぎ合った所。ツアーは 8 世紀に戦いで敗れたキリスト教徒の戦士ローランを称えた抒情詩(武勲詩)、ローランの歌の起原となった「ローランの裂け目」を通り、フランスからスペインへ国境越えのハイキングをしました。



(ローランの裂け目・スペイン側 8/25 日)

○国境越 2 日目(ゴリッツ小屋)

サラド小屋からモレーンを登るとローランの裂け目が目の前に。しかし、大雪田が行く手を阻み、スリップしないように高度を稼いで、最後に岩稜帯をよじ登ると裂け目のコルに到着。コルからの景色は素晴らしく、フランス側にガバルニー圏谷、スペイン側にオルデッサ圏谷が広がりました。(世界複合遺産:ピレネー山脈のモン・ペルデュ) ここからガレ場のカールを慎重に下り、正面にMt.ペルデュ(3352m) を仰見ながらゴリッツ小屋へ。



(ローランの裂け目 8/25 日)



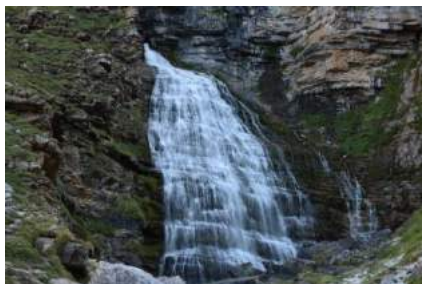


○国境越え 3 日目

今日はオルデッサ圏谷を下りトルラへ。小屋を出て少し下った所にあるアイリス(アヤメ科)の群生は既に枯れてしまいガッカリ。しかし、さらに下った所でエーデルワイスの群生を発見、その数はエーデルワイス畑と言った状態。石灰質のこの地域はエーデルワイスが多い所。この花は遅咲きなので 8 月後半でも結構楽しめます。



(オルデッサ溪谷 8/26 日)



○バルセロナ

ハイキングを終えバルセロナへ向う途中、キリスト教の聖地モンセラート修道院を訪れてからサグラダファミリアへ向いました。モンセラートとは「ギザギザな山」と言う意味で、ガウディがサグラダファミリアを設計するに当たりこれをイメージしたとか。夜はコロンブス像近くのレストランでシーフード&パエリア、そして美味しいスペインワインで舌鼓。最終日はピカソ美術館を見学して山と歴史と味の旅を締め括りました。



ご参加された方より一首お送りいただきました。

草原の淡きサフラン丈低く
吹き来る風のすでに秋立つ

天溪ツアーは8月27日発「ツールドモンブラン10日間」と続きます。

記 天溪 赤沼